

2026年度

定期総会

☆ちょっとカラフルに！☆

☆八千代台をキャンパスに未来を描こう！☆

☆燃やせばCO2発生、炭化すれば温暖化対策☆

◎議 題

第1号議案 2025年度事業報告

第2号議案 2025年度収支決算報告および会計監査報告

第3号議案 協議会役員

第4号議案 2026年度事業計画

第5号議案 2026年度収支予算

◎部会資料 1. リモンチェッロの会

2. えきまちブランディングの会

3. エコまちの会



2026年5月12日八千代台駅東口



内容を漫画表現することに試作中

八千代台まちづくり協議会

八千代台まちづくり協議会規約

(目的)

第1条 八千代台地区の少子高齢化に対応し、地域の個性や魅力を活かし、利便性が高く、活力にあふれる地域作りを推進すると共に、これを支える市民主体の持続可能なコミュニティを育むことを目的とする。

(名称及び組織)

第2条

1. 本会は「八千代台まちづくり協議会」と称し（以下、協議会という）、八千代台地区自治会連合会、商店会、商工会議所、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、また地域の有識者等の地域社会を代表する人々、八千代市の関係部署全体で構成される。

2. 協議会は「まちづくり」に必要とする機能別の複数の部会を設置する。どのような機能別部会を設置するかは、必要に応じ協議会の決定にゆだねる。

3. 協議会に役員をおく。役員は会長（1名）、副会長（2名）、機能別部会の責任者（数名）、監査役（2名）とし、協議会で選任される。役員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

4. 協議会の運営指導と意見調整のためにまちづくりおよび合意形成の専門家を招聘することができる。

5. 協議会の支援部門として事務局をおく。事務所の場所は、会長宅に置く。

(役員の条件と任務)

第3条

1. 会員は第2条の1により構成されるが、議員など公職に就くものは会長、副会長、機能別部会の責任者、また監査役に就くことはできない。

2. 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

3. 副会長は会長を補佐し、会長に事故等がある時はその職務を代行する。

4. 機能別部会の責任者は各部会の議長として部会を運営し、会員の意見をまとめる。その結果を役員会（第4条2）で報告する。

5. 会計事務は事務局が担当する。

6. 監査役は年1回以上にわたり、会計事務を精査しその正確性を担保する。

(会議)

第4条

1. （総会）協議会の全体会を総会とし、最高意思決定機関とする。総会は年1回は開催するものとする。また役員会（次項）で必要と判断した時には適宜、総会を招集できる。

2. （役員会）協議会を運営するために役員会をおく。役員会は会長、副会長、及び各機能別部会の責任者、事務局で構成される。役員会は必要に応じ会長が招集する。監査役は役員会の構成から除外されるが、役員会が必要とするときは役員会に出席して意見を述べることができる。

3. （機能別部会）協議会の会員はいずれかの機能別部会に属することを原則とする。八千代市は機能に適合した部署が担当する。機能別部会はその責任者の招集により開催されるが、この際、会議の開催日及び目的を事前に会長に報告し了承を得ることとする。必要に応じ会長以下の役員は機能別部会に出席することができる。

(収入および経費)

第5条 協議会の収入は会費、負担金、寄付金及び補助金などによるものとし、経費の主たるものは、研修費、調査費、資料作成費、通信費である。

(解散)

第6条 協議会の解散は、総会を開き出席者の過半数の賛同により実施できる。

(その他)

第7条

1. この組織は、八千代台東南まちづくり協議会及び八千代台地区再建検討委員会を母体として発展拡大した組織である。

2. 協議会運営に関する八千代市庁内の調整は、コミュニティ推進課が担当する。

3. 協議会の会則の変更は、役員会での承認の下、総会を開催し、出席者の過半数の賛同を得て変更することが出来る。

4. この会則に定めるもののほか必要な事項は役員会で協議して決める。

付則

1. この規約は平成28年6月3日より施行する。

2. この規約は令和6年8月4日より改正施行する。

【第1号議案】 2025年度事業報告

八千代台を「住みやすいまち」にすることを目指し、「自分たちでできることを実行する」、「専門職の協力を得て実行する」、「市役所等に要請や意見交換をする」、「まちづくりに関し情報を集める」、「ビジョンを創作する」、「第3者による講演会とワークショップを開催する」、「広報活動と地域活動を行う」、「まちづくり協議会の運営を行う」、「今後の検討課題に取り組む」などの活動を目指しました。

【会議】

- ・定例会を定期的に月2回第2と第4木曜日夜に八千代台公民館や八千代台自治会事務所にて行い、活動内容の反省と今後の計画を検討しました。

【リモンチェッロの会】

- ・ばらの手入れは天候に左右されますが、ほぼ毎週土曜日朝にビブスを着用して行いました。手入れの時刻は、10月～6月は8時から、暑い夏季の7月～9月は7時からとしました。水撒きは不定期ですが手入れの時刻より早く行いました。
- ・2026年2月にばらの植栽を行いました。ゆうゆう通りの枯れたばらや折られたばら等の箇所にピンクダブルノックアウト3本、東口ロータリーにスカーレットボニカ5本の合計8本を植えました。抜いたばらの中で生きている株は、ニマイル広場の中に場所をお借りして保養所を作り植えました。
- ・今年度までに植えたばらは、405本となりました。
- ・ばらの手入れ方法に関しては、京成バラ園芸のばら専門家のアドバイスを受けました。

【えきまちブランディングの会】

- ・2023年9月より住み続ける価値のある八千代台周辺のまちづくりについて検討しました。
- ・八千代市の都市計画に関連する資料を事前に収集し、市民参加の方法を探りました。将来像の実現に向けた推進体制では、市民、事業者（交通事業者や商店会など）、行政が計画段階から協働して約20年程度を目処に、将来像の実現を目指すことを確認できました。
- ・定期的に八千代市まちづくり推進室と打合せ、情報交換をしました。

【エコまちの会】

- ・バイオ炭に関し取り組んでいます。
- ・ばらを剪定しますと剪定枝がでます。剪定枝を里山ロック隊にて乾燥させ、炭化し、バイオ炭として土壌改良材として花壇に入れました。バイオ炭を花壇に入れることは、土壌改良となると同時に、炭素が土壌の中で貯留されることになり、CO2の削減に役立つと思っています。

「燃やせばCO2発生、炭化すれば温暖化対策」となります。

【広報活動】

＜パンフレット＞

八千代台まちづくり協議会の概要と実績そして方針を知っていただくためにA4サイズを三つ折りにしたパンフレットを作成し(改訂版2024年1月)、ボランティアカフェ等にて配布しました。

＜フェイスブック＞

<https://www.facebook.com/yachiyodai.machizukuri/>

毎週手入れしています八千代台駅周辺のばらの様子及び各種活動の内容を掲載しています。

<ホームページ>

<https://www.yachiyo-machi.com/>

日々の活動の様子は、フェイスブックに掲載していますので、ホームページには活動用資料の保管を中心としています。見た目は変わらないですが、保管している資料は必要に応じ追加しています。パスワードを求められる項目がありますが、パスワードは「ymk」です。資料をとりあえず保管していますので、資料整理はこれからです。

【説明活動、地域活動】

<市役所>

活動内容を知っていただく為と要望をお願いする為に、コミュニティ推進課、まちづくり推進室、土木管理課などと打ち合わせました。

<地域活動>

地域の団体とコラボした活動及びまち協の活動を知っていただく為に、京成グループ八千代台地区の BMK 合同駅前清掃とふれあいフェスタでの展示を行いました。

ダイヤモンド富士バレンタインの会場では、ばらの花びらのサシェ（香り袋）とばらの剪定枝で作ったバイオ炭を配布しました。

【活動記録】

- ・毎週土曜日朝：八千代台駅周辺のばらの手入れ
- ・月 2 回（第 2、第 4 木曜日）：定例会（八千代台公民館、八千代台自治会事務所）
- ・年 1 回：定期総会
- ・2025 年 5 月 9 日：京成グループ八千代台地域 BMK 合同駅前清掃に参加
- ・2025 年 5 月 24 日：二マイル広場に実験畑を耕し、さつまいもを 200 株植栽
- ・2025 年 6 月 22 日：まち協総会
- ・2025 年 9 月 6,13 日：ばらの剪定
- ・2025 年 10 月 18 日：ふれあいフェスタにてストラックアウトと展示とアンケート
- ・2025 年 11 月 7 日：京成グループ八千代台地域 BMK 合同駅前清掃に参加
- ・2026 年 1 月 24 日：ばらの剪定枝にてバイオ炭作り
- ・2026 年 2 月 14 日：ばらの剪定
- ・2026 年 2 月 14 日：ダイヤモンド富士のイベントにてばらの花びらのサシェとバイオ炭の配布
- ・2026 年 2 月 21 日：ばらの植栽 8 本
- ・2026 年 2 月 21 日：弱っているばらを二マイル広場に保養所を作り移植

【御礼】

八千代台エリアの自治会・町会の皆様、事業に参加された皆様、社会福祉協議会、地域の団体等の皆様、お世話になりありがとうございました。

【活動支援金】

下記の皆様から支援金を頂きました。ありがとうございました。

- ・八千代まちづくり緑が丘基金様
- ・八千代市自治会連合会八千代台支部の皆様
- ・八千代ライオンズクラブ様
- ・サンコー住宅産業（株）様
- ・（有）新緑様

【バラに関する技術指導】

京成バラ園芸様にご指導を頂きました。ありがとうございました。

【2025 年度のまちづくり協議会の担当者（敬称略）】

会長：佐々木博幸、 副会長：関野薫、 部会長：阿部晃枝、 那須原和良、 須藤正人

顧問：橋本貞寛、 監査役：轡田かおる、 吉澤俊秀

ありがとうございました。

【委託】

商店会から花壇の一部の管理を委託されました。

【第2号議案】2025年度収支決算報告

(2025年4月1日～2026年3月31日)

収入の部

単位：円

科目	2025年度予算	2025年度決算	摘要
前年度繰越金	424,715	424,715	
自治会・町会補助金	100,000	93,520	(注1)
八千代緑が丘基金	200,000	200,000	ばらの植栽(注2)
協賛金	100,000	0	
協賛金1	0	50,000	ライオンズクラブ様
協賛金2	0	30,000	八千代台駅前商店会様
八千代台東口商店会	130,000	130,000	花壇管理(注3)
利息	0	779	
収入合計	954,715	929,014	

注1：補助金として1世帯当たり20円をお願いしました。

注2：正式名：公益信託八千代まちづくり緑が丘基金

注3：場所はエボラ通りの花壇の一部

支出の部

科目	2025年度予算	2025年度決算	摘要
情報収集・広報費	20,000	14,400	ホームページ
花壇管理費	400,000	392,687	苗木、肥料、薬剤等
会議費	5,000	0	
交際費	5,000	0	
交通費	10,000	0	0
通信費	20,000	9,690	切手、はがき、封筒等
印刷費	10,000	5,775	
消耗品費	10,000	0	
食糧費	5,000	0	
報償費	30,000	0	
保険費	1,000	0	
雑費	5,000	0	
花壇管理(エボラ通り)	230,000	0	花壇管理費に含む
次年度繰越金	203,715	506,462	
合計	954,715	929,014	

監査報告書

2026年5月16日

八千代台まちづくり協議会 会長 佐々木 博幸 殿

監査役 吉沢 俊秀



監査役 轡田 かおる



八千代台まちづくり協議会規約第3条に基づき、2025年度の収入及び支出に関する帳簿、通帳、現金、証拠書類について監査した結果、適正に処理されていたと認め報告します。

1. 監査範囲 : 収入及び支出の会計全般
2. 監査実施日 : 2026年5月16日
3. 監査場所 : 八千代台自治会事務所
4. 監査した書類 : 帳簿及びその他の証拠書類

【第3号議案】協議会役員

役職	氏名	備考
会 長	佐 々 木 博 幸	八千代台自治会会員
副会長	関 野 薫	八千代市自治会連合会八千代台 地区会長
部会長	阿 部 晃 枝	リモンチェッロの会
部会長	那須原 和 良	エコまちの会
部会長	須 藤 正 人	えきまちブランディングの会
顧 問	橋 本 貞 寛	愛宕みどり会自治会会員
監査役	轡田かおる	リモンチェッロの会
監査役	吉 澤 俊 秀	大東自治会会員

【第4号議案】2026年度事業計画

1. 事業方針

バラの植栽と手入れや清掃活動等の環境美化活動を継続していく事に加え、ばらの剪定枝や伐採竹等を炭化しバイオ炭として花壇や畑に土壌改良材及び炭素貯蔵として温暖化対策を行います。

八千代台エリアのこれからを考える「えきまちブランディングの会」部会では、「自分たちでできることからまちづくりを進める」活動を皆様のご意見を伺いながら取り組みます。八千代市まちづくり推進室との打ち合わせを継続します。

下記方針にて活動を行っていきます。

- (1)自分たちでできることを実行する。
- (2)専門職の協力を得て実行する。
- (3)市役所等に要請や意見交換をする。（できれば委員等になり協力する）
- (4)まちづくりに関し情報を集める。
- (5)ビジョンを創作する。
- (6)第三者による講演会とワークショップを開催する。
- (7)広報活動と地域活動を行う。
- (8)まちづくり協議会の運営を行う。
- (9)今後の検討課題に取り組む。

2. 事業内容

(1) ばらの手入れ、花壇の整備を行います【リモンチェッロの会】

- ・まちの景観を良くする為に八千代台駅周辺に植えたばらの手入れを行います。
- ・エポラ通りの花壇の一部に各種の花を植栽し手入れすることで、通りをカラフルに彩っていきます。
- ・折られたり弱ったばら等は、二マイル広場に設けた保養所で育てます。

(2) まちづくりの手法及び成功例を学び八千代台のまちづくりを目指します【えきまちブランディングの会】

- ・まちづくりの成功事例（明石市、流山市、印西市、国土交通省の市街地整備 2.0 など）を参考にし、まちづくり手法として、「マーケティング戦略」、そしてその上位に位置する「ブランディング戦略」を学習します。同時に、八千代市役所まちづくり推進室、各自治会等との連携方法について検討し、今後の参加・協力方法を探ります。
- ・「まちづくり条例」や「景観条例」（＊）等に関し検討し、近隣市の情報を集めます。
- ・八千代台のビジョンの実現に向けて皆さんと取り組みます。
- ・「まちづくり」をテーマにワークショップを開催します。

（＊）八千代市は、2025年4月1日に「景観行政団体」へ移行しました。

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/43/62724.html>

景観行政団体は、景観法に基づき良好な景観の形成に関する「景観計画」を策定することができます。また、景観計画の内容を担保し、実効性を確保するため、景観条例で必要な規制を設けることも可能です。

(3) ばらの剪定枝や伐採竹をバイオ炭化し花壇や畑に入れることで土壌改良と温暖化対策を行います【エコまちの会】

- ・定期的に実施しますばらの剪定を行うと出てくるばらの剪定枝をバイオ炭化し花壇に入れます。
- ・ニマイル広場の斜面林に侵入している竹を伐採し、バイオ炭としてニマイル広場に開拓した畑に入れ、さつまいもを育てます。
- ・バイオ炭は、里山ロック隊の活動場所をお借りして作ります。

(4) 専門職の協力を得て実行する。

- ・バラの植栽及び手入れに関して、京成バラ園芸様のご協力を引き続き頂く予定です。

(5) 市役所等に要請や意見交換をする。（できれば委員等になり協力する）

- ・必要に応じ市役所の担当職員と相談や打ち合わせをします。

(6) 広報活動と地域活動を行う。

活動の拡大を目指し広報活動と地域活動を行います。

・ 広報活動

フェイスブック、ホームページ、八千代台まちづくり協議会チャンネルを設けています。

・ 地域活動

「ボランティアカフェ」にて八千代台まちづくり協議会を説明します。

「ふれあいフェスタ」にてコーナーを出店します。

地域の他の団体の活動に協力します。

(7) まちづくり協議会の運営を行う。

- ・運営して頂ける人を募集し運営人数を増やしたいので、ご協力をお願いします。
- ・運営費は、構成メンバーである八千代台自治会連合会の皆様をお願いすると共に、地域団体へ支援をお願いします。

(8) 今後の検討課題に取り組む。

まちづくりに関する課題を協議する場を持ちます。

3. 組織

各種事業を実行するために部会と委員会を設けますが活動内容により新設や変更します。

- ・リモンチェッロの会（主にばらを植栽し管理します。）
- ・えきまちブランディングの会（まちづくりの方法に関して学びビジョンの実現につなげます。）
- ・エコまちの会（エコなまちづくりをめざします。ばらの剪定枝等からバイオ炭を作り活用します。

4. 会議

まちづくり協議会の運営の為に、総会、定例会、委員会等を開催します。

(1) 定期総会： 原則年 1 回

(2) 定例会： 原則月 2 回（第 2，第 4 木曜日夜間）

八千代台公民館、八千代台自治会事務所

(3) 部会： 必要に応じ開催します。

* 活動に役立つと思われるデーターや議事録をホームページに掲載しています。
パスワードは、主に「ymk」です。

【第5号議案】 2026年度収支予算

収入の部

科目	2025 年度予算	2026 年度予算	摘要
前年度繰越金	424,715	506,462	
花壇管理	130,000	0	
自治会・町会補助金	100,000	100,000	(注 1)
協賛金	100,000	100,000	
八千代緑が丘基金	200,000	200,000	
収入合計	954,715	906,462	

注 1：補助金は、1 世帯 20 円をお願いします。

支出の部

科目	2025 年度予算	2026 年度予算	摘要
情報収集・広報費	20,000	20,000	プロバイダー費など
イベント費	400,000	50,000	内容に依り花壇管理費に移行
花壇管理	230,000	600,000	ばら苗、肥料、薬剤、機材など
会議費	5,000	5,000	
交際費	5,000	5,000	
交通費	10,000	10,000	
通信費	20,000	20,000	切手、はがき、封筒等
印刷費	10,000	10,000	
消耗品費	10,000	10,000	
食糧費	5,000	5,000	
報償費	30,000	30,000	講演会講師料
保険費	1,000	1,000	プログラム実施時のボランティア保険
雑費	5,000	5,000	
次年度繰越金	203,715	135,462	
合計	954,715	906,462	

部会資料

1. リモンチェッロの会

～ちょっとカラフルに！～

2. えきまちブランディングの会

～八千代台をキャンパスに未来を描こう！～

3. エコまちの会

～燃やせば CO2 発生、炭化すれば温暖化対策！～

1. リモンチェッロの会～ちょっとカラフルに！～

目次	1-1 バラの植栽状況.....リモンチェッロの会ー1
	1-2 2025 年度の活動.....リモンチェッロの会ー2
	1-3 2026 年度の活動.....リモンチェッロの会ー6

facebookの八千代台まちづくり協議会のページに植栽の記録と写真を豊富にアップしております。ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/yachiyodai.machizukuri>



1-1 バラの植栽状況

1-1-1 八千代台駅周辺バラの植栽状況

2025 年 5 月の開花の様子



時計塔のある交通島



ゆうゆう通り



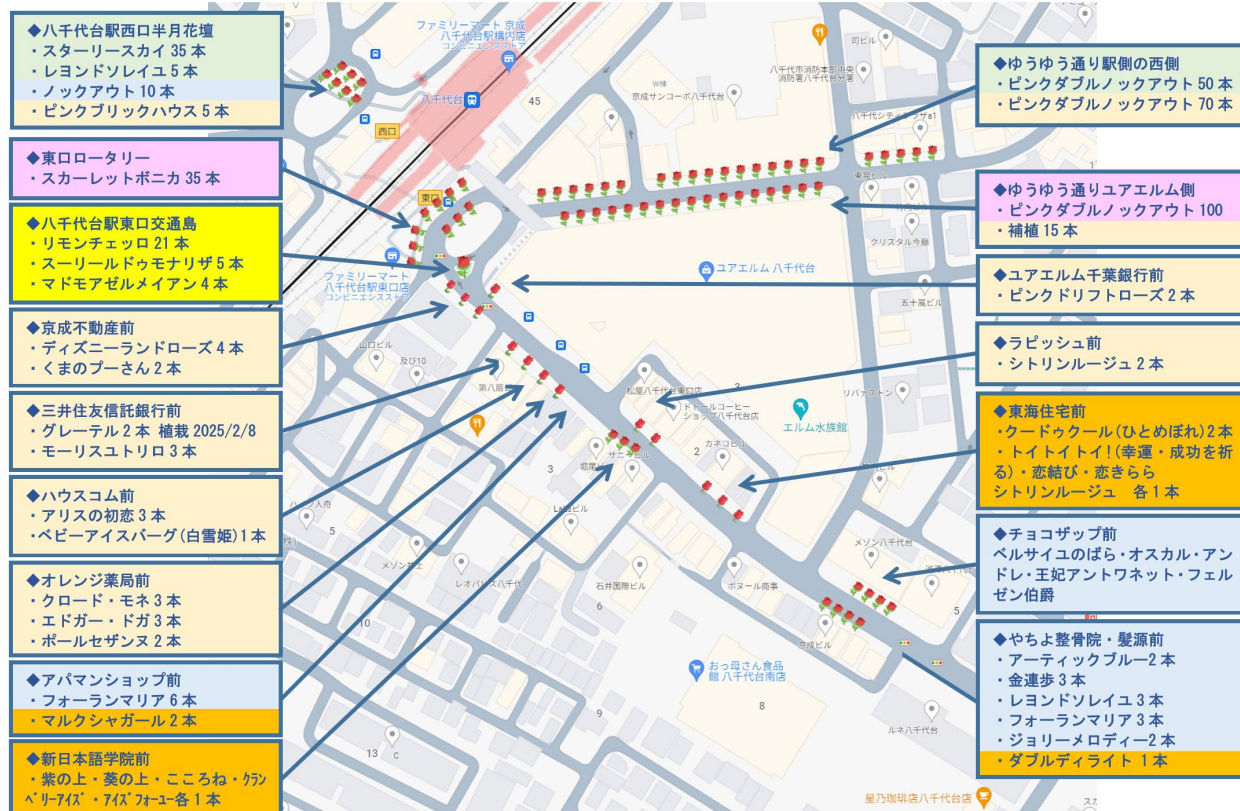
エボラ通り



西口

八千代台まちづくり協議会 リモンチェッロの会 バラ植栽箇所

2026 年 3 月 31 日現在



植栽 1 年目(2020 年 12 月) 2 年目(2022 年 2 月) 3 年目(2023 年 1 月) 4 年目(2024 年 1・3 月) 5 年目(2025 年 2 月)
6 年目(2026 年 3 月)

計 405 本

1-1-2 本年度新たに植栽したばら

① 東口ロータリー・タクシープール・ゆうゆう通りの補植

- ・ カイガラムシ被害で枯れたピンクダブルノックアウトを交換・補植
- ・ 踏み倒しなど破損したスカーレットボニカを交換・補植

② エポラ通り

バラの名前や種類に統一感があるものを同じエリアに移植と新規植栽をしました。



- A.おとぎの国のばらゾーン ... ディズニールンドローズ・くまのプーさん・グレーテル・**アリスの初恋**・ベビーアイスバーグ(白雪姫)
- B.印象派絵画の巨匠ゾーン ... モーリスユトリロ・エドガール・クロードモネ・**エドゥアールマネ**・ポールセザンヌ・マルクシャガール
- C.一重・八重のばらゾーン ... **紫の上紫**・**こころね**・**葵の上**・**アイズフォーユー**・**クランベリーアイズ**
- D.恋叶うばらゾーン ... **クードゥクール(ひとめぼれ)**・**トイトイトイ!(幸運・成功を祈る)**・**恋結び**・**恋きさら**
- E.香りのよいばらゾーン ... **ダブルディライト**・**金蓮歩**・**フォーランマリア**・**フォーランマリア**・**ジョリーメロディー**・**アークティックブルー**
- F.ベルサイユのばらゾーン ... **ベルサイユのばら**・**オスカルフランソワ**・**アンドレ克蘭ディエ**・**王妃アントワネット**・**フェルゼン伯爵**

※緑字は今年度植栽した苗 25 本

1-2 2025 年度の活動

1-2-1 新規植栽と維持管理

今年度の目標「作業時間は一週間に1時間！」

5年活動してみて、夏の猛暑、足腰の負担、無償ボランティアという性質を鑑みると、作業時間は1時間が最適と考えました。1年48回(年末年始GWお盆は休み)の作業で見事な花が咲くよう、1時間でこなせる人にとっても花にとっても無理のないスケジュールを組み、道具の活用により人的負担を軽減できるのであれば保管場所も考慮して極力活用するようにしました。

実際の活動状況としては、毎週土曜日、夏は7～8時、それ以外の季節は8～9時。作業内容は、維持管理の①花殻摘み②雑草取り③施肥④薬剤散布⑤剪定⑥マシン油塗布(カイガラムシ除去予防)から、新規植栽の①土壌改良②植栽などです。ボランティアは3～8名にご参加いただきました。夏の猛暑日が1週間続くときは、バスの運行が始まる前4時半～6時に水やりを1～4名で行いました。

・夏剪定と冬の強剪定を1時間で終わらせる工夫

剪定作業は、棘のある剪定枝を如何に効率良く収集するかで時間が大きく変わってきます。当初 35 本のバラを剪定ばさみで刈りボランティア袋に入れる作業に 3~4 時間かかっていました。350 本を超えるようになり、剪定枝をバイオ炭にするため、袋詰めは必要なくなり、如何に効率よく里山に枝を移すかに焦点を当て、軽トラを貸していただいて、バリカンで花壇に入り込んだ剪定枝「U 字熊手」でかき出し、かき出した剪定枝を「プラレーキ」でざっくり「テミ」ですくい軽トラに放るなど小道具を使うことでゆうゆう通りの剪定を1時間で終了、西口やエポラ通りは別日に1時間で完了させました。道具は大事！



・ゆうゆう通りの強剪定は垣根仕立てに

・西口の強剪定は周りは垣根仕立て
内側は木立仕立て



・エポラ通りの強剪定は
剪定バサミで1本ずつ木立仕立てに



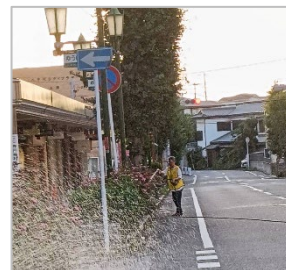
専門家(京成バラ園)の指導や、難しい樹勢のものは実際に手入れもしていただき、全体の剪定状態のアドバイスをいただきました



・マシン油塗布
(カイガラムシ除去予防)



・土壌改良 たい肥・腐葉土・ピートモスを入れ
2週間かけて弱酸性のふかふかの土に



・早朝水やり



・エポラ通りに新規植栽(バラ・サツキ・ツツジ)
半円花壇のツツジを同品種にするため、剪定枝を芽挿しで2年育苗させたもの



1-2-2 バラの保養所



ニマイル広場のお芋畑の横で療養中のバラ

駅周辺の花壇はバラが咲くには少々環境が厳しいところがあります。花壇の幅が狭かったり、強いビル風や猛暑に建物の照り返しや日陰、人的に踏まれたり折られたり抜かれて放置されたり、ゴミやたばこや吐瀉物やジュースアルコールなどの液体をかけられたりと、植物にとってストレスが少なくありません。病気が出たり、負傷したり、姿勢が極端に悪くなったりしたバラ達をニマイル広場（八千代台東2小跡）に退避しました。適度の日照と風、豊かな土壌でのびのびと保養して、また元気になるよう取り組んでいます。

1-2-3 花の看板の作成設置とバラ MAP 看板の作成

バラの名前を聞かれることが多くなり、また管理箇所の明確化のためもあり、昨年のロータリーとゆうゆう通りに続きエポラ通りの花の看板 16 種類を設置しました。バラ MAP は作成までで設置は次年度になります。道路専有許可取得済み



花の看板レイアウト



16 種類分



設置



バラ MAP 駅下用



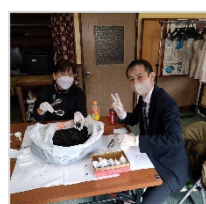
ばら MAP 日高屋前用



看板

1-2-4 バラの花びらのサシェと剪定枝バイオ炭の小袋を作り配布しました

作業中暖かいお言葉をかけていただいたり、作業している所をよけていただいたり、バラの育成に何かとみなさまにご理解とご協力をいただいております。日頃の感謝の気持ちを込めて、昨年に引き続きバラの花びらを詰めたサッシュェと、今年はそれに加え夏の剪定枝をバイオ炭化したものを小袋に詰めて、2月14日ユアエルム屋上のダイヤモンド富士イベントで200袋ずつ計400袋を配布しました。



1-2-5 京成電鉄 Gr BMK 推進活動に参加しました



5月9日(金)8:20～8:50 3名参加 11月7日(木)8:20～8:50 4名参加

1-2-6 バラの講習会に参加しました



2026年1月20日(火)
緑の講習会「木バラの剪定と管理」
@村上公民館
4名参加

1-2-7 佐倉草ぶえの丘バラ園 視察



5月16日(金)佐倉くさぶえの丘に5名で視察に行きました。

野生バラやオールドローズを中心に1250種2500株のこちらのバラ園は、2006開園、2014年米サンマリノのグレードローザリアンヌオブザワールドプログラムから「殿堂入りバラ園」の称号を授与され、20215年の世界バラ会連合第17回世界大会では「優秀庭園賞」を受賞しております。

こちらの園長さんは京成バラ園で鈴木省三さんと活躍されていた方で、園内には鈴木省三コーナーや日本・中国・サンタマリアの谷・世界の原種などのエ

リアがあり様々なバラを見ることができます。

京成バラ園のフランス式庭園(平面幾何学式庭園)とはまた趣が異なるイギリス式庭園(自然風景式庭園)風に仕上げられており、華やかさより、素朴で風と香りを感じるバラの持つ心地よさを染み入ることができる育て方の参考となりました。

資料室には、鈴木省三氏が残した書籍・資料合わせて約9,000点ほど、古い重厚なバラの蔵書を見ることができました。

1-2-8 第20回世界バラ会議 視察

5月19日(月)～21日(水)広島県福山市で開催された第20回世界バラ会議&RoseExpoに八千代市観光協会さん1名と八千代緑が丘花と緑の応援団さん2名の計4名で視察に行きました。



緑町公園ローズヒルの前にて



RoseExpo 会場



福山駅前広場(福山城前)



バラ会議講演



校内にバラ園を持つ小学校訪問
校長先生と



小学生が外国人にバラの
取り組みを英語で説明



バラ公園



Blush NoisettePhilippe Noisette

2 年前にバラ会議前のまちの状態を把握しておきたく福山ばら祭りに視察に行きましたが、大学教授が設計したバラ公園が見事生まれ変わっており、設計が入るとこんなにもスタイリッシュになるものかと感銘しました。基調講演では 4 講座を受講、日本のバラの育種家や古いお城の襖からひも解く日本のバラはいつからあったのか、また中国の 300 年を超えるバラの樹や高速道路の樹木としての活用例など興味深いものでした。周遊では、小学校で生徒が育てる校内バラ園や福山 SA でのバラ園、そして次年度の新品種選抜の 1 票を投票してきました。第 20 回世界バラ会連合栄誉の殿堂入りばらは、ブラッシュ・ノワゼット(米)が殿堂入りとなりました。

1-2-9 御礼



- ・京成バラ園芸さんから、専門家を4回派遣していただきました。
また、春と秋のイベント時の入園チケットを頂きました。
日頃植栽活動にご参加いただいているボランティアさんにお配りさせていた
だきました。
- ・八千代ライオンズクラブ様(時計塔のある交通島)
八千代台駅東口商店会様(エポラ通り)
八千代台駅前商店会様(ゆうゆう通り)
植栽管理のご依頼ありがとうございました。
- ・ユアエルム八千代台店様夏場のお水提供をありがとうございました。
- ・八千代緑が丘基金の補助金を活用させていただきました。

活動へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。

1-3 2026 年度の活動

- ・今までに植栽してきたバラや草花の維持管理
- ・八千代台駅周辺バラマップ看板の設置
- ・視察 都電荒川線沿いのバラとあじさい
- ・八千代台駅西口福太郎裏東洋バス③乗り場付近の植栽整備検討の開始

2. えきまちブランディングの会

(1) 八千代市のまちづくり推進室との定例会議

行政と市民のコミュニケーションの場として八千代市のまちづくり推進室との定例会議を開始しました。以下に、これまでの会議内容の概要を示します。

- 2025 年 8 月

- ① まちづくり協議会のこれまでの全体活動概要の説明
- ② 議会对応などの例外を除き本会議の定例化を提案、同意を得る。

- 2025 年 10 月

- ① 市との会議議事録の公開することで合意。
- ② 京成本線沿線まちづくりビジョンの次フェーズ検討のためのコンサルタントへの業務委託の入札内容を確認。

- 2025 年 12 月

- ① 市との会議議事録の公開方法についての方針を確定
- ② 「八千代台駅周辺まちづくり検討業務委託」の委託事業者決定の報告を受ける。受託業者：株式会社タカハ都市科学研究所、契約期間：令和 8 年 12 月まで。
- ③ 今回の委託は、将来像の「案」を複数検討するコンサルティング業務であり、詳細設計や工事は含まれない。また、業務仕様書には鉄道事業者（京成電鉄）との協議も含まれている。
- ④ 2025 年 10 月のふれあいフェスタアンケート結果（166 件）の報告。【資料 1 参照】

「駅周辺にあったらいいモノ」と「したいコト」をテーマにアンケートを実施。

- ⑤ 協議会から市へ4つの提言
 1. パーパス（社会的意義）の観点からビジョンの再確認と共有
 2. 住民参加の仕組みの明文化
 3. エリアプラットフォームの早期設立

4. 透明性のある進捗公開

● 2026 年 1 月

- ① 現代のまちづくりにおいて不可欠な「パーパス(社会的存在価値)」の概念とフレームワークについて説明
- ② デジタル庁「地域幸福度(ウェルビーイング)指標」の活用について八千代市の現状を客観的・主観的データの両面から分析した結果を説明

● 2026 年 3 月

- ① 中小企業庁主催の「マチスタート」研修参加の報告
- ② 地域幸福度の比較(八千代市 VS. 流山市)【資料2参照】
- ③ まちづくり関連法改正案閣議決定について
- ④ 八千代台駅周辺バラマップと案内版設置計画の説明
- ⑤ 住民主体の八千代台地区まちづくり会議の組織化についての議論

● 2026 年 4 月

- ① 広報やちよ(2026/4/15 付け)に掲載された「官学民連携による共同研究とインフラ整備の連動」について「京成本線沿線まちづくりビジョン」との関連について質問し直接の関連はないことを確認。

まちづくり共同研究 「令和7年度研究成果発表会」を開催

市では日本大学生産工学部建築工学科北野研究室の協力のもと、令和6年度から京成大和田駅周辺のまちづくりについて共同研究を行っており、官(市)学(同大学)民(地元住民)が協働してワークショップを実施するなど対話や連携を深めながら、持続的なまちづくりに向けて取り組んでいます。

3月17日には、同研究室の学生の皆さんによる市職員に向けた研究成果発表会が市役所で開催され、これまでの歩み、ワークショップなどにおける意見の分析や傾向、京成大和田駅前広場の活用を話し合う中で、まちの愛着や課題解決への意識の^{ひろ}拡がりなどが発表さ

れました。

また、勝田台地区のテラスハウスや他の居住環境の居住者における、それぞれのまちの愛着度や空き家への意識等の研究、市販のサンドボックス系ゲームを用いた小学生を対象とする実際のまちを模倣してのワークショップの実施計画などを発表しました。

当日は50人近くの市職員が参加し、施策形成などに生かすため、熱心に耳を傾けていました。



◀同研究室の北野幸樹教授(奥左)と学生による発表

図 1 広報やちよ(2026/4/15 付け)に掲載された記事の抜粋

- ② 市民満足度調査の第5次総合計画への反映とその評価について説明【資料3参照】
- ③ 新たな地域コミュニティの核：総合型地域スポーツクラブ設立について説明(2026年秋の立ち上げの予定)
- ④ 5月中に市から「八千代台駅周辺まちづくり検討業務委託」の中間説明会開催の予定。

(2) 八千代台駅周辺まちづくり検討業務委託概要

八千代台駅の開業から70年が経過し、都市基盤の老朽化やバリアフリー化の不足といった課題が浮き彫りになっている現状を受け、地域の活性化に向けた具体的な再整備案を策定することを目的としてタカハ都市科学研究所に業務委託されました。

主な業務内容は、駅の東西を結ぶ連絡通路の整備検討や、駅前広場の拡張・再編、さらには市街地再開発事業を視野に入れた土地利用計画の比較検討です。令和8年12月までの期間で、歩行者の交通量調査や関係機関との協議を重ね、将来的な都市計画の方向性を導き出すことが求められています。受託者には、鉄道駅周辺の開発実績を持つ専門的な技術者の配置が義務付けられており、高度な専門性が期待されるプロジェクトです。最終的には、具体的な整備イメージ図や事業スケジュールを含む報告書の提出が義務付けられています。

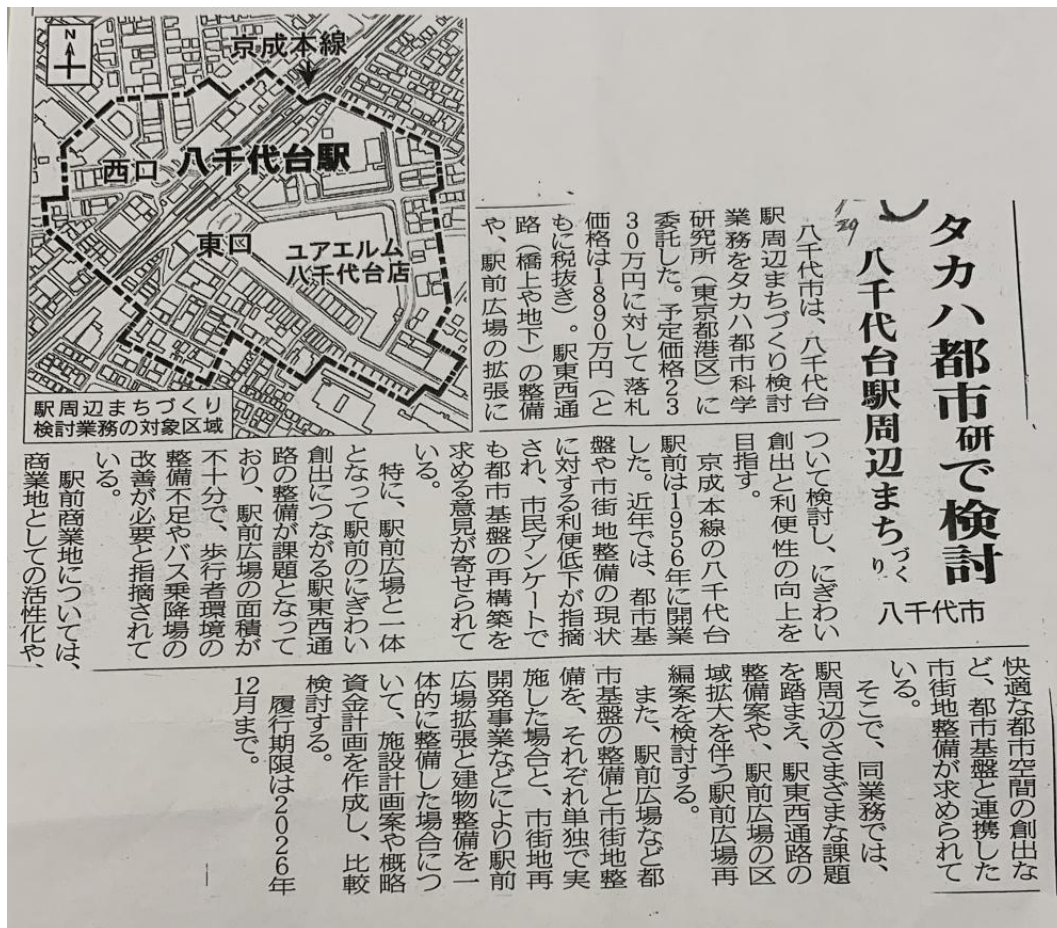


図 2 新聞に掲載された八千代市の業務委託内容

(3) 2025/10/25 開催の市政懇談会での提案と回答

1年に1回八千代台地区の市政懇談会に参加しました。八千代市からは服部市長はじめ住民に直接関連のある部署の責任者8名程度が、また住民側からは自治会代表者数10名らが参加し質疑応答しました。まちづくり協議会からは以下の提案をし回答を得ました。

- ① 「京成本線沿線のまちづくりビジョン」が2023年に市から提示されたことを受けて、まちづくりを成功させるためには市民、行政、事業者、利用者など多様な関係者が意見を出し合うための「エリアプラットフォーム」の必要性を訴えました。
- ② このエリアプラットフォームは、国土交通省により「将来像を議論し、実現に向けた協議・調整を行う場」として定義しています。初期段階で様々な要件を入れ込まなければ、後のフェーズで修正が難しくなり、多様な関係者の意見が反映されなくなることを懸念し、できるだけ早い段階での協議開始を求めました。エリアプラットフォームについては(8)を参照。

- ③ 市からは、現在コンサルタントへの委託業務の中で大きな形を描いている段階であり、地域の方々のプラットフォームを設立するのは、今回のステップの「次の段階」になるだろうと認識しているとの回答がありました。
- ④ 市は、コンサルタントへの業務委託の結果として、八千代台駅周辺の「目に見える形」を提示し、それを見た皆さんの意見を改めて集約した上で決定する予定であると説明しました。市当局は、最終報告前のある程度の段階で市民に提示し、意見を伺う場を設けることを検討する意向を示しました。
- ⑤ なお、自治会関係者からは、駅前の再開発計画が一般市民にほとんど知られていないことへの懸念が表明されました。

(4) 八千代台まちづくり通信

まちづくりについてこれまでに研究してきたことや成功事例などを4コマ漫画で紹介する取り組みを開始します。以下に Google Gemini で作成した例を示します。

Gemini へのプロンプト:

「八千代台まちづくり協議会のメンバーです。京成本線沿線まちづくりビジョンに沿って八千代台地区の住民への啓もう活動の一環として、定期的に「まちづくり」とは何か、その必要性について4コマ漫画で自治会定期会報に含めたい。創刊号の4コマ漫画を作成してください。」

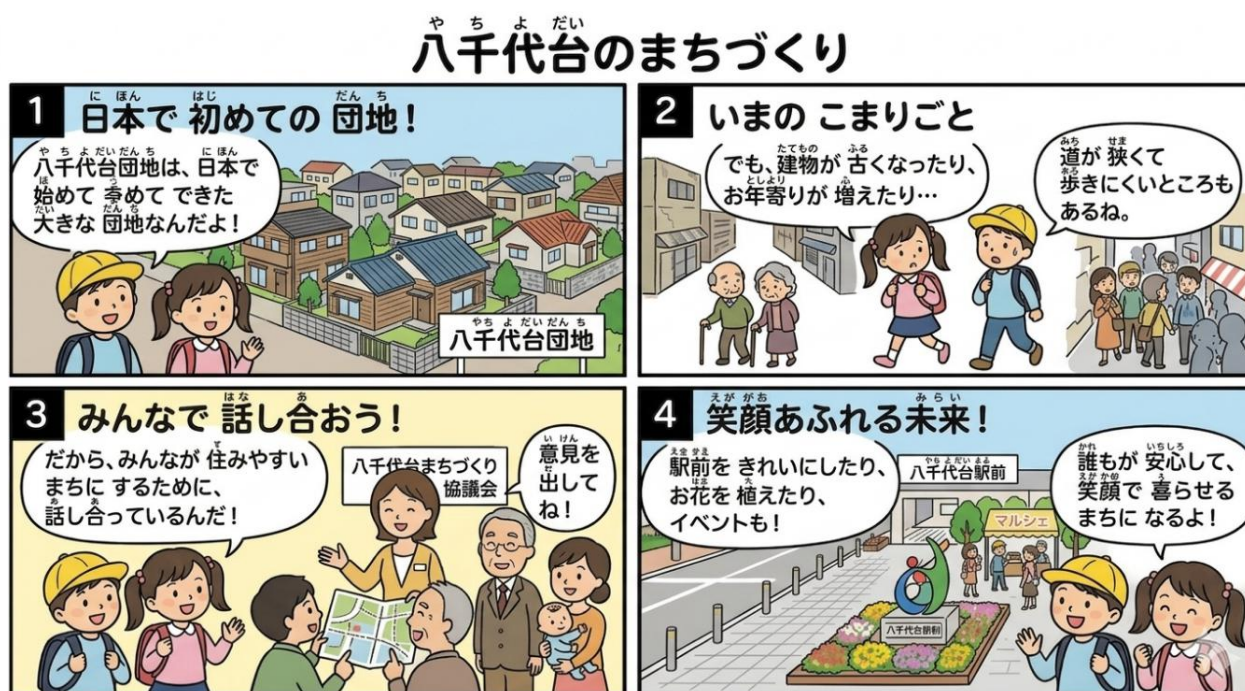


図 3 AI で作成した八千代台のまちづくりについての4コマ漫画（作成: 須藤）

Gemini へのプロンプト:

「八千代台まちづくり協議会のゆるキャラを小中学生にうけるように作成して。」



図 4 八千代台まちづくり協議会のゆるキャラ「マチハッチー」（作成:須藤）

Gemini へのプロンプト:

「4コマ漫画のスタイルで、成功事例の研究のうち明石市の事例を住民にわかりやすく描いてください。」



図 5 明石市のまちづくりについての4コマ漫画（作成:須藤）

(5)シン八千代台 Web サイトの移行状況

現在運用中のまち協 Web サイトを新たに再構築する準備を進めています。シン八千代台 Web サイトは Google Workspace を契約してサイトのコンテンツを作成していますが、まだ一般公開できていません。今後、コンテンツを充実させてドメイン名を既存サイトから移行して公開する予定です。



八千代台まちづくり協議会のミッション

八千代市の最南端に位置する八千代台地区の個性や魅力を活かして、利便性が高く、活力にあふれる地域づくりを推進して、明るく美しく、楽しい「まち」にすることをミッションとしています。

人中心の安全でウォーカブルな「まち」にする
花と緑が豊かな駅前広場を実現する
 定期的なイベントがあり楽しめる空間を実現する
 複数のステークホルダーが協力して「まち」をより良くする



☆八千代台をキャンパスに未来を描こう！

安全で住み続ける価値のある八千代台を実現するために、八千代市のまちづくりビジョンをもとにしてアイデアを出し具体化に向けた検討をします。



☆バラでちょっとカラフルに！

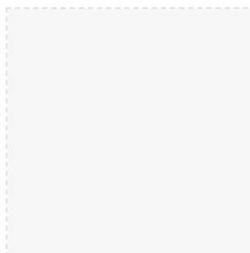
市の花「バラ」を花壇に植えて八千代台駅周辺をカラフルで、はなやかにします。



☆バイオ炭で温暖化対策

！

バラ剪定枝や伐採竹をバイオ炭化し活用することによって、CO₂を土壌に固定化して温暖化対策に貢献します。



取り組み 4

取り組みとその重要性についての説明

お問い合わせ

プロジェクトについて、詳しくは[]までお問い合わせください。

行動を起こす

図 6 作成中のシン八千代台 WEB サイトのトップページ（作成：須藤）

(6) 第5次総合計画後期基本計画の評価

令和7年度「[八千代市市民満足度調査 報告書 別冊《自由意見集》](#)」に寄せられた八千代台地域の切実な要望(No.105～144)に対し、「第5次総合計画後期基本計画」がどの程度応えているかを「評価」としてまとめました。Google NotebookLM により AI が客観的に評価し、評価結果は★5 点が最も良いとしています。

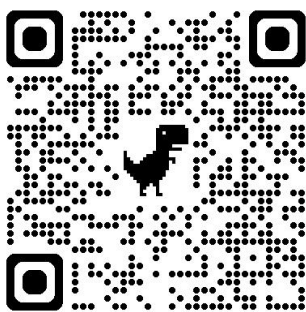


図 7 別冊《自由意見集》の QR コード

【資料3より評価結果】

後期基本計画は、市民が抱える「医療センターへの不信感」や「高齢者の移動の自由」といった最重要課題に対して、解決の方向性(ベクトル)は一致しています。しかし、個別の「評価」で見ると、「具体的な助成金の創設」や「制度の欠陥(70 歳以上の検診漏れ等)」といったピンポイントな要望に対しては、一般論にすり替えた回答が多いのが実態です。特に医療体制については、市の権限が及ばない大学病院側の都合に配慮しすぎるあまり、「検討」や「維持」に留まり、市民が求める「改善・拡充」への踏み込みが甘いと言わざるを得ません。

(7) 2025 年 10 月開催のふれあいフェスタに出店

2025 年 10 月 18 日ふれあいフェスタにて実施したアンケート(有効回答数 166 件)結果に基づき、八千代台駅周辺の地域ニーズについて Google NotebookLM により AI が分析を行いました。本アンケートは、「八千代台駅周辺に何があったらいいか(ハード整備)」と「八千代台駅周辺で何をしたいか(ソフト体験)」という2つの側面から、住民の潜在的要望を明らかにしています。【資料2参照】

(8) エリアプラットフォームとは？

国土交通省都市局まちづくり推進課による「まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム」という解説書では、多様な関係者が集まって、まちの将来像を議

論し、実現に向けて取り組む官民連携での協議の場と定義しています。詳細は以下の QR コード参照。

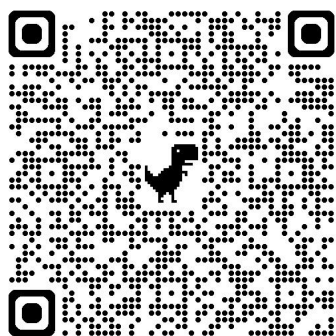


図 8 国土交通省による「まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム」解説書



基本的なイメージを知る

エリアプラットフォームって何だろう？

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、まちづくりや地域課題解決に関心がある企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取組（＝まちづくり）について協議・調整を行うための場が、エリアプラットフォームです。

「エリアプラットフォーム」とは、おおむね以下の要件が揃った協議の場です



エリアに関わる様々な
仲間と集まり協議をする



まちづくりに関する実績を有する
専門人材からの支援を受けている



エリア価値の向上・将来像
の実現が目的



緩やかな協議の場
（プラットフォーム）

図 9 まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム」解説書 P.3 抜粋

エリアプラットフォーム構成者の多様な顔ぶれ

エリアプラットフォームに集う主体（構成者）のうち、ここでご紹介するのは一例です。官民の多様な主体が、まちの魅力向上や自らの活動の活発化など多様な目的で、緩やかに集まっています。



図 10 まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォーム」解説書 P.4 抜粋

(9)2026 年度の活動計画

- ① 八千代市まちづくり推進室との定例会議を継続実施
- ② 八千代市が業務委託しているタカハ都市科学研究所の成果物の確認と次フェーズの活動計画策定
- ③ エリアプラットフォームの設立準備
- ④ シン八千代台 Web サイトの構築と移行完了
- ⑤ 4コマ漫画による「八千代台まちづくり通信」の発行継続
- ⑥ 八千代台地区の地域幸福度(ウェルビーイング)指標の測定
- ⑦ 八千代市から不定期に出されるアンケートへの回答や計画書などのレビューとパブリックコメントの送付

【資料1】:2025 年ふれあいフェスタ アンケート分析レポート

2025 年 10 月 18 日ふれあいフェスタにて実施されたアンケート(有効回答数 166 件)に基づき、Google NotebookLM の AI により八千代台駅周辺の地域ニーズについて分析を行いました。本アンケートは、「八千代台駅周辺に何があったらいいか(ハード整備)」と「八千代台駅周辺で何をしたいか(ソフト体験)」という2つの側面から、住民の潜在的要望を明らかにしています。



1. 分析サマリー: 浮かび上がった2つの主要な「ギャップ」

分析の結果、八千代台駅周辺のニーズには、世代間および要望の性質(ハード vs ソフト)において、以下の2つの顕著なギャップが存在することが判明しました。

1. 「若年層(小学生)が求める『サードプレイス』と「大人が求める『生活実用性』」のギャップ(ハード面)
2. 「恒久的な施設(ハード)」への要望よりも、「体験型イベント(ソフト)」への要望が質・量ともに強い傾向

2. ハード(施設)ニーズの分析(質問 1: 何があったらいい?)

質問1の回答(ハード整備)は、主に「小学生」の回答が多数を占めており、彼らの具体的な要望が強く反映されています。

2.1. 若年層の「サードプレイス」への渴望

回答数の上位は、若年層(小学生)のニーズによって独占されています。

- 映画館(8件)
- ゲームセンター(7件)
- スターバックス(7件)
- 駄菓子屋(6件)
- マクドナルド(6件)

これらの施設に共通するのは、「家庭」と「学校」以外の、子供たち自身が主体的に集い、安価に時間を消費できる「サードプレイス(第3の居場所)」としての機能です。特に「映画館」「ゲームセンター」はエンターテインメント消費、「スターバックス」「マクドナルド」は飲食を伴うコミュニケーションの場として強く認識されています。

また、「イオン」(5件)や「遊園地」(4件)といった、一日中時間を過ごせる大型複合施設への要望も根強く、駅周辺における「時間消費型」の目的地(デスティネーション)機能の不足を示唆しています。

2.2. 大人の「実用性」と「既存資産の改善」への要望

一方、「大人」の回答は、回答数こそ各項目 1～2 件と分散していますが、非常に具体的かつ実用的な視点が含まれています。

1. 子育て支援の場:

- 「子供の室内遊び場(運動系他)」(2 件)
- 「子供を預ける場所」(1 件)
- 「バースディ(子ども服)」(1 件)

2. 既存商業施設(ユアエルム等)への不満と改善要望:

- 「家族みんなが買い物できて楽しめる施設(エルムは高い)」(1 件)
- 「エルム内に若者向けの店、しまむら、ユニクロ入れて」(1 件)
- 「ユアエルムの雑貨屋少ない。小中高生向けの商品がほしい」(1 件)

3. コミュニティ機能の要望:

- 「人が自由に集まれる場所」(1 件)
- 「手芸屋さん(布やソーイング)」(1 件)

大人の視点は、単に新しいハコモノを誘致することよりも、「子育て環境のインフラ整備」と「既存資産(ユアエルム)の魅力向上・価格帯の見直し」という、生活に密着した現実的な課題解決に向けられています。

3. ソフト(体験)ニーズの分析(質問 2: 何をしたい?)

質問 2 の回答(ソフト体験)は、質問 1(ハード施設)と比較して、特定のカテゴリへの回答が集中しており、住民の欲求がより明確に現れています。

3.1. 圧倒的な「イベント(非日常)」への希求

- お祭り(11 件)
- イベント(3 件)

全 166 件の回答の中で、「お祭り」は突出して高い回答数(11 件)を記録しており、地域住民が駅周辺

の空間に対し、「ハレの日(非日常)の体験」を強く求めていることが分かります。これは、日常的な利便性(ハード)の追求以上に、地域コミュニティの一体感や賑わいを体験できる「コト消費」への強い動機付けがあることを示しています。

3.2. 「食」を介した体験の重視

- 何か食べる(4件)
- 食べ歩きしたい(2件)
- 八千代ラーメンフェスティバルを開催(1件・大人)
- 食べ放題のイベント(1件・大人)

「食」に関連する回答が多数寄せられました。注目すべきは、単に「飲食店が欲しい」(質問1)ではなく、「食べ歩き」や「ラーメンフェス」「食べ放題」といった、**イベント性を伴う食体験**を望む声強い点です。これは、地域活性化の施策として「食」が極めて有効なフックとなることを示唆しています。

3.3. 参加型・交流型ニーズ

- ゲーム(4件)
- 趣味が同じ人のサークルを作りたい(1件・大人)
- 子供が安全に遊べる場所(1件・大人)

「ゲーム」は施設(Q1)だけでなく、体験(Q2)としても求められており、eスポーツ大会のような参加型イベントの可能性も考えられます。「サークルを作りたい」という大人の意見は、駅周辺に「趣味を通じた新たなコミュニティ形成」の場が求められていることを示しています。

4. 結論と戦略的提言

本アンケート結果は、八千代台駅周辺のまちづくりにおいて、「ハード整備」と「ソフト施策」の両輪でアプローチする必要性を明確に示しています。

提言 1:【短期・即効性】「ソフト(体験)」の優先的实施

最も強く、明確なニーズは「お祭り」と「食イベント」でした。これは、既存の駅前広場や公園などの空間を活用すれば、大規模なハード投資なしに実現可能です。「八千代ラーメンフェスティバル」のような具体的な提案を参考に、フードトラックの誘致や週末マルシェを定期開催することで、住民の満足度を短期的に高め、地域の賑わいを創出することが推奨されます。

提言 2:【中期】若年層の「サードプレイス」創出

若年層が求める「映画館」や「ゲームセンター」の誘致はハードルが高いものの、「サードプレイス」のニーズは深刻です。対策として、既存施設(ユアエルムや公民館など)の空きスペースを活用した「ポップアップ・ゲームセンター」の設置、あるいは「駄菓子屋」やボードゲームカフェといった、低コストで運営可能な小規模店舗の誘致支援が考えられます。

提言 3:【中長期】「大人」の課題解決と既存資産の価値向上

大人の要望である「子育て支援(室内遊び場、預け場所)」は、地域の定住促進において不可欠な要素です。同時に、「エルムは高い」、「若者向けの店が欲しい」といった既存商業施設への具体的なフィードバックは、地域経済の核心的な課題を示しています。行政と民間事業者(特にユアエルム)が連携し、テナントミックスの見直しや、ファミリー層・若年層をターゲットにした価格帯・品揃えの再検討に着手することが、駅周辺エリアの長期的な魅力向上に繋がります。

【資料2】デジタル庁地域幸福度(Well-Being)

ダッシュボードによる地域間比較

<https://well-being.digital.go.jp/dashboard/>

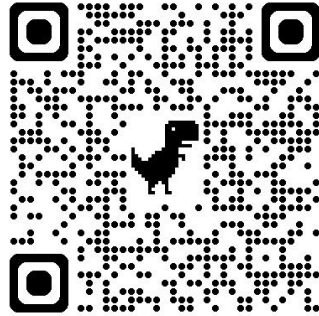
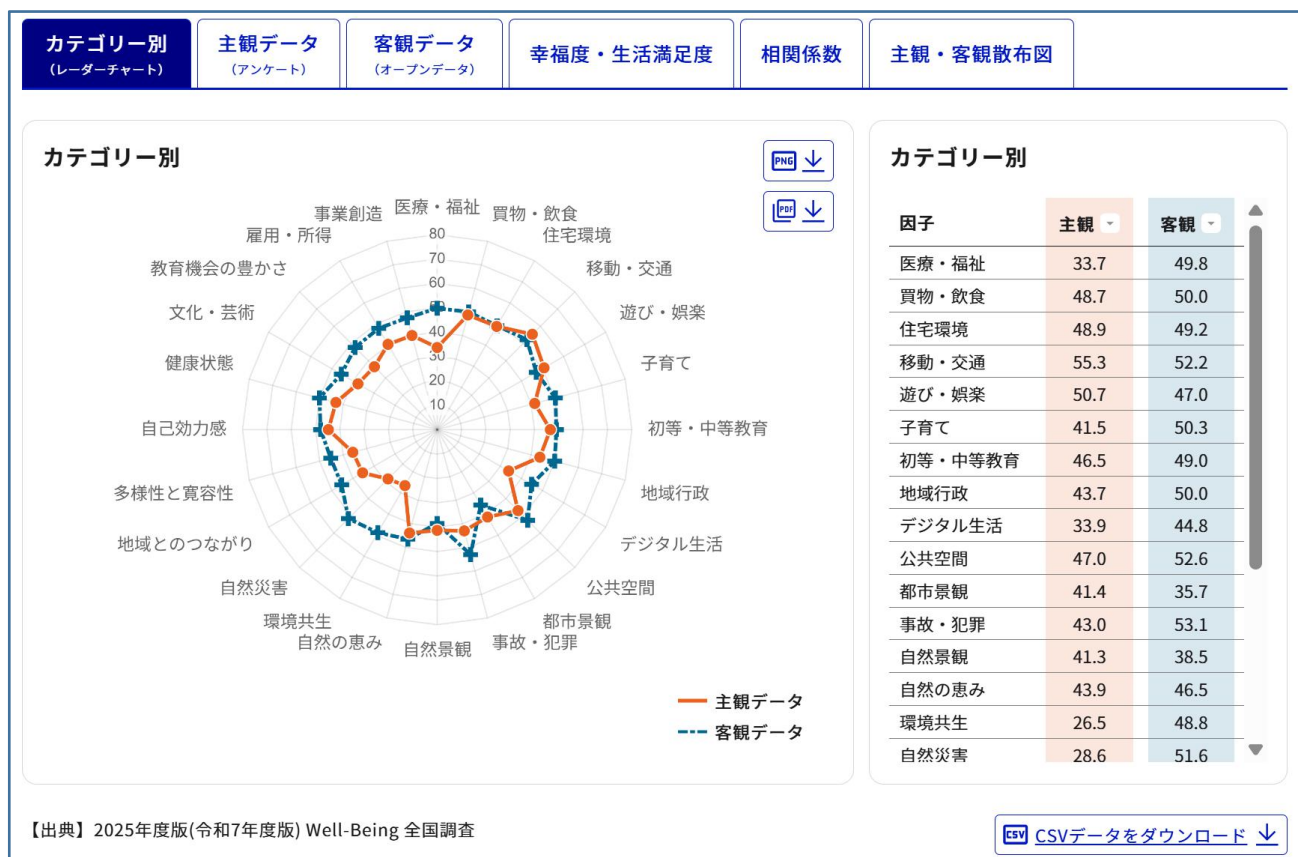


図 1 デジタル庁地域幸福度ダッシュボードの QR コード

八千代市のダッシュボード



図 2 八千代市のダッシュボード画面



八千代市と流山市の比較



図 4 八千代市と流山市のカテゴリー別比較画面

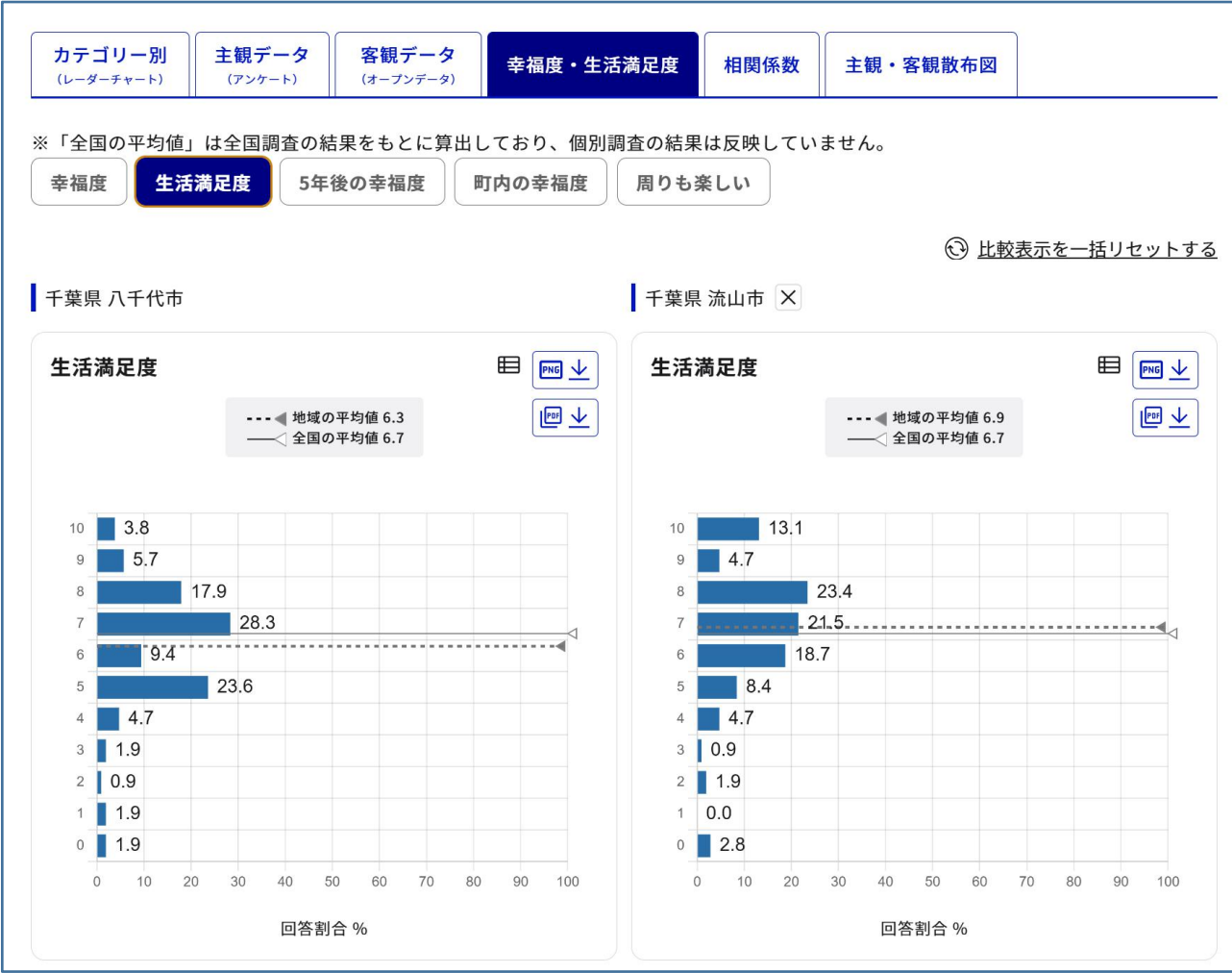


図 5 八千代市と流山市の生活満足度の比較

カテゴリー別 (レーダーチャート)	主観データ (アンケート)	客観データ (オープンデータ)	幸福度・生活満足度	相関係数	主観・客観散布図
※「全国の平均値」は全国調査の結果をもとに算出しており、個別調査の結果は反映していません。					
幸福度	生活満足度	5年後の幸福度	町内の幸福度	周りも楽しい	

[🔄 比較表示を一括リセットする](#)

千葉県 八千代市

千葉県 流山市 ×

幸福度

---◀ 地域の平均値 6.6
—▶ 全国の平均値 6.4

Score	Percentage (%)
0	1.9
1	0.9
2	0.0
3	9.4
4	0.9
5	17.0
6	14.2
7	14.2
8	24.5
9	7.5
10	9.4

回答割合 %

幸福度

---◀ 地域の平均値 6.3
—▶ 全国の平均値 6.4

Score	Percentage (%)
0	2.8
1	1.9
2	2.8
3	7.5
4	6.5
5	11.2
6	14.0
7	21.5
8	16.8
9	3.7
10	11.2

回答割合 %

図 6 八千代市と流山市の現在の幸福度比較画面

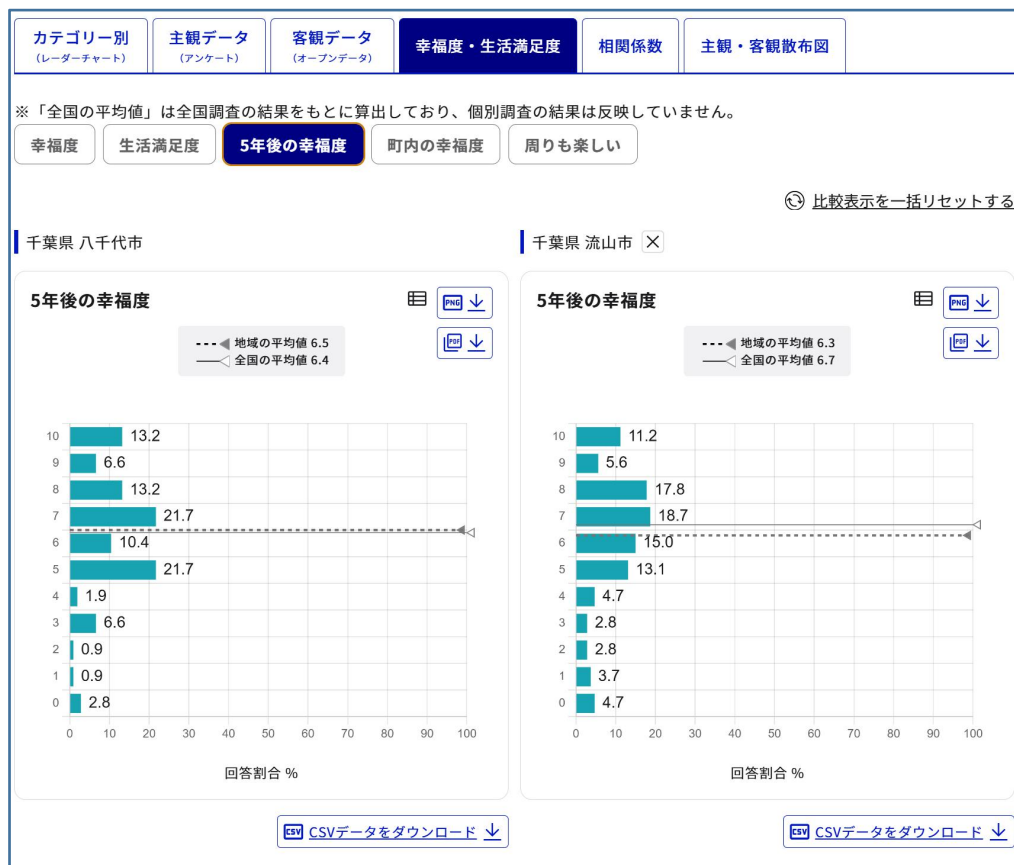


図 7 八千代市と流山市の 5 年後の幸福度比較画面

資料3：八千代市令和7年度・第5次総合計画後期基本計画の評価

「八千代市市民満足度調査 報告書 別冊《自由意見集》」に寄せられた八千代台地域の切実な要望（No.105～144）に対し、「第5次総合計画後期基本計画」がどの程度応えているかを**「評価」**としてまとめました。評価結果は★5点が最も良い評価。評価は、Google NotebookLMによりAIが作成し、要望に対する具体的解決策の提示があるか、単なる「検討」や「努力目標」に留まっていないかを基準としています。

意見No.	主な要望内容全文	後期基本計画の対応項目（第3部 部門別計画）	要望内容に対応した後期基本計画の具体的な記述内容	記載ページ	評価	評価結果
105	結婚支援金が多かったことで結婚生活が大変だった。小さな子供がいる家庭の女性がパートでさえ採用されにくくので子育て支援を充実させるか女性の働き口を充実して下さい。病児保育を充実させてほしい。実際に利用するにはハードルが高過ぎる。他の市町村だと、子どもが具合が悪くなったとき、ボランティアの方が家で見てくれる制度があると聞いた。八千代市でもファミサポ制度はあるが、実際に制度を利用するにはハードルが高い。物価高によって、共働きでないと子どもを充分養えない、家計が維持できない状況に陥っていると感じる。子どもの権利を守るためにも、病児保育やファミサポの充実には、必要なことだと思う。保育士や教員の給料や職場環境を充実してほしい。	第1章 第1節 3「子育て支援」/ 第5章 第3節 1「就業・雇用」	結婚、出産、子育てというライフステージに応じた切れ目のない支援により、各家庭の実情にあわせた子育て環境を整えます。また、女性の再就職支援及び障害者の就業を促進します。	40, 121	「切れ目のない支援」という言葉は綺麗だが、具体的な「結婚支援金」の導入には触れておらず、雇用支援も一般的。	★★
106		第1章 第1節 2「保育環境・幼児教育」/ 3「子育て支援」	地域の教育・保育施設における人材の確保及び定着を推進するため、保育士及び幼稚園教諭への手当や保育士の家賃補助などにより処遇改善に取り組みます。また、一時預かり事業など多様なサービスの充実と利便性の向上を図ります。	39, 41	処遇改善は評価できるが、市民が訴える**「病児保育利用のハードルの高さ（手続き等）」を解消する具体策が見えない。**	★★★
107	保育園が入りづらいので増やして欲しいです。	第1章 第1節 2「保育環境・幼児教育」	全てのこどもが発達段階に応じた幼児教育・保育を受けることができるよう、保育ニーズの実態に応じて必要な受け皿を確保します。	39	「ニーズに応じて確保」は当然の責務。具体的な増設数や八千代台地区への重点配置には言及なし。	★★★
108	他の県や市などで行っている子供に対する補助や出産などの補助制度も見直して欲しい。治安は良く住みやすいとは思いますが、豊かに暮せているかといわれるとそうだとはいえない。物価は上がっても給料は上がらないので、国や市からの補助や取組がないと私達は幸せになれないと感じます。	第1章 第1節 3「子育て支援」	こどもや子育てを地域全体で支える機運の醸成や、子育て世帯が仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進します。	140	機運の醸成といった精神論に近い記述が多く、金銭的補助の拡充については踏み込み不足。	★★
109	子育て支援を手厚くして頂きたいです。市内には育休退園を実施している保育園もあり、待機児童の早急な解消を願っています。	第1章 第1節 2「保育環境・幼児教育」	待機児童の早期解消に向けて、地域ごとの保育ニーズに基づいた受け皿の確保や保育士の人材確保に取り組みます。	38	待機児童対策は掲げているが、「育休退園」という運用上の課題への解決策が示されていない。	★★
110	小学生や中学生が放課後や長期休みに安心して過ごせる場所があると良いなと思います。学童に入れなくなると、とたんに目が行き届かなくなります！どのように過ごせるか心配です。	第1章 第1節 1「こども支援」	放課後子ども教室や乳幼児親子が自由に過ごせる居場所など、こどもが自分らしく過ごせる居場所を提供します。	37	「放課後子ども教室」の拡充を明記しており、放課後の居場所づくりには一定の回答がある。	★★★★

意見No.	主な要望内容全文	後期基本計画の対応項目(第3部 部門別計画)	要望内容に対応した後期基本計画の具体的な記述内容	記載ページ	評価	評価結果
111	子供を産んでから公園に行っても子供がいな い。またはコロナで施設もやっていない状況 もあり発達が遅く、保育園はどこもいっぱい 子供を安心して預けることができなかったの で仕事をやめたが、児童発達支援センターに も入れず幼稚園にも断られ、民間療育もいっ ぱいで入れない等ずっとどこからも拒絶され 孤独を感じているばかりでした。保健センタ ー、児童発達支援センターに相談しても何日 も連絡がこない。来ても安心、納得のいく回 答ではありません。2人目を希望していました が、とても八千代市では育てられないと諦め ました。	第1章 第1節 1「こども支 援」	個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成 し、児童生徒の自立と社会参加を支援します。 また、相談支援や早期対応が円滑に実施でき るよう、相談援助体制を強化します。	41, 64	体制強化は掲げるが、市民が経験した **「連絡すら来ない」という初動の遅さを どう改善するかの具体性がない。**	★★★
112	障害者福祉サービスに力を入れてほしい。人 工肛門の管理にお金がかかる。市の給付金 では足りない。仕事も制限があり、収入が減 る中、障害の為に必要なものを購入する費用 の捻出が厳しい。他県や他市は増額している ところがあるので、八千代市もぜひ増額を検 討してほしい。	第1章 第2節 2「障害者 福祉」	障害がある人に配慮したきめ細やかな支援が 求められています。日常生活を支援する障害福 祉サービスの充実を図るとともに、相談支援体 制を強化します。	44, 45	「充実」という言葉に逃げており、給付金 額の増額といった経済的支援への回答 を避けている。	★★
113	高齢者緊急通報システムの条件として、日中 独居高齢者も対象にして欲しい。救急車で何 度も病院にお世話になりましたが、たまたま 一緒にいる時だったので対応出来ました。高 齢者なのでまともに受け答えが難しい所に急 に容態が悪くなるので、とても不安です。他の 自治体を見習って介護する側も安心して仕 事、生活出来るよう前向きに検討して下さいと 幸いです。	第1章 第2節 3「高齢者 福祉」	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など が住み慣れた地域で自立した生活を継続でき るよう、介護保険サービスに含まれない在宅福祉 サービスをを行います。	47	「独居高齢者への支援」は含まれるが、 「同居家族がいる日中独居」への対象拡 大というピンポイントな要望に応えるか は不透明。	★
114	救急車で運ばれ、緊急なのに週末(土・日)だ から医師が不在の為に受け入れてくれる病 院が八千代市内になく、ようやく印西市の大 学病院で父を受け入れてくれた。休日の急患 の受け入れ体制(医師の在中)などもっと重 要に考えてほしい。命を守るために財源を使 い、人手を増やすなど尽力してほしい。予約 が必要な病院が多く、すぐに行くことが出来 ず困る。	第1章 第4節 2「医療」	医師会や歯科医師会、薬剤師会、八千代医療 センターの協力により、夜間休日の救急医療体 制を構築しており、今後も安定的な維持を図り ます。	58, 59	「安定的な維持」では現状の不足は解消 されない。市民は「今の体制では足りな い」と怒っている。	★★
115	地域医療体制は休日診療など助かります。た だ、中核に位置している東京女子医大八千 代医療センターの縮小化により専門性が下 がっているように感じることは残念です。地域 で診療を受けられることは生活の安心に繋が ります。市への意見を述べることで、重なる 機会をありがたうございました。このよう な機会があればまた協力したいと思います。	第1章 第4節 2「医療」	八千代医療センターを中核的な医療施設に位 置付け、地域医療機関と連携した地域医療体制 を維持することで、切れ目のない医療の提供を 図ります。	59	位置付けの確認のみで、医師不足によ る専門性低下という実態をどう食い止め るかの戦略が薄い。	★★

意見No.	主な要望内容全文	後期基本計画の対応項目(第3部 部門別計画)	要望内容に対応した後期基本計画の具体的な記述内容	記載ページ	評価	評価結果
116	所得の低い国民を大切にして下さい！！年金の低い年寄りから金を取るな！！無駄な火花を打ち上げるな！！祝金を出せ！！	第1章 第2節 4「生活困窮者等支援」	生活に困っている人が必要な支援を受けることができ、自立し安定した生活を送るまちを目指し、状況に応じた適切な支援を実施します。	48	祝金の支給など特異な要望には応えない方針。「適切な支援」という曖昧な表現に終始。	★★
117	带状疱疹ワクチンの補助をして欲しい。	第1章 第4節 1「保健」	感染症に対する定期予防接種の接種率の向上を図るとともに、各種感染症予防に関する普及・啓発に努めます。	57	带状疱疹は任意接種であり、多くの市民が望む「公費助成」についての記載を避けている。	★
118	70歳以上の人が孤立しない様に日中誰でも集まれる場所の設置をお願いします。	第1章 第2節 1「地域共生」/ 3「高齢者福祉」	ひきこもりの状態にある人や社会との関わりが希薄となった独居高齢者など、孤独や孤立を感じる人に対し、当事者の状況に応じた支援を行います。	43	支援の方向性は合致しているが、「誰でも集まれる場所」の具体的な増設プランが欠けている。	★★★
119	八千代は介護保険がとりにくいと有名です。財政もあると思いますが、船橋・印西との違いを感じる。	第1章 第3節 2「介護保険」	介護保険事業を総合的に推進するため、介護保険事業計画を3年ごとに策定するとともに、事業を適正に実施するために必要な体制を計画的に整備します。	53	「適正な実施」は行政側の理屈。他市との認定基準の差への不満に対して、調査や改善の姿勢が見えない。	★★
120	急な発熱に対応できる病院がなく困ったため、365日24時間、相談できる窓口の設置をお願いします。	第1章 第4節 2「医療」	地域の医療体制を構成する医療機関がそれぞれ役割を担い、地域において切れ目のない医療を提供します。	58, 59	方向性は良いが、「24時間相談窓口」という具体的なハード整備までは約束していない。	★★
121	八千代医療センターの運営に不安を感じています。総合病院としての全科の診療が確実に行われるよう今後改善を望みます。	第1章 第4節 2「医療」	八千代医療センターを中核的な医療施設に位置付け、関係機関と検討し、地域において切れ目のない医療を提供します。	59	「関係機関と検討」に留まっており、病院側の経営判断や医師確保に対する市の強制力がないことが露呈。	★★
122	高齢者は簡単に預ける施設がない(残った夫婦子供で旅行に行きたいのに)。	第1章 第2節 3「高齢者福祉」	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護予防や生活支援、家族介護支援の充実を図ります。	47	施設不足への回答として「支援の充実」は弱すぎる。具体的な施設増設やレスパイト機能の強化が不明。	★★★
123	社会福祉、児童福祉サービスにもっともっと尽力してほしい。	第1章 第1節 1「子ども支援」/ 第2節 1「地域共生」	全てのこどもの最善の利益を尊重し、健やかに育てるまち、一人ひとりが互いを認め合い、支え合いながら安心して暮らすまちを目指します。	36, 42	理念は立派だが、「尽力」の中身が見えづらく、総花的な計画。	★★
124	救急医療が女子医大病院しかなくて不便である。	第1章 第4節 2「医療」	救急医療の中核を担う八千代医療センターを支援し、地域医療機関や関係団体の協力を得ながら、安定した救急医療体制を確保します。	59	「医療センター頼み」を継続する計画であり、新たな救急病院の誘致など市民が望む選択肢の拡大はない。	★★
125	保育園の先生が優しくないので孫もイヤイヤ登園しています。先生の子供の個人的な好き嫌いが目立ちます。孫が先生に両腕を抑えられて叱られるのを見て悲しくなりました。	第1章 第1節 2「保育環境・幼児教育」	保育士及び幼稚園教諭への手当や家賃補助などにより処遇改善に取り組み、保育環境の向上と質の向上を図ります。	39	処遇改善による「質」の向上は謳うが、ハラスメントに近い指導の是正など、監査機能の強化には触れていない。	★★★
126	公共の市の保育園なのに看護師が不在のところがあるので、常勤にする必要がある。	第1章 第1節 2「保育環境・幼児教育」	配置基準を上回る保育士、看護師、栄養士、障害児担当保育士などの配置に対する人件費の補助を行い、保育環境の向上を図ります。	39	要望に直球で応える内容。人件費補助を通じて看護師配置を促進する姿勢を明確にしている。	★★★
127	女子医療センターが医師不足なのでなんのために開院しているのか不明である。よくわからない。	第1章 第4節 2「医療」	看護師等修学資金貸付や看護師復職研修を推進し、看護師等の確保及び質の向上を図ります。また、今後の地域医療体制について関係機関と検討します。	59	検討段階から進んでおらず、「開院の意義」を問い直す市民の不信感を払拭するには至っていない。	★★
128	医療センターをもっと充実させてもらいたい。(医師不足の解消)	第1章 第4節 2「医療」	医師会や八千代医療センターの協力により救急医療体制を維持するとともに、看護師などの確保及び質の向上を図ります。	58, 59	養成支援などは行おうが、肝心の「医師」の確保に関しては具体策が計画から読み取れない。*	★★★

意見No.	主な要望内容全文	後期基本計画の対応項目(第3部 部門別計画)	要望内容に対応した後期基本計画の具体的な記述内容	記載ページ	評価	評価結果
129	病院を充実して欲しい。年齢的に交通手段が車以外であれば、電車・バスの移動になるのが大きな病院になった時などは、タクシーなどの移動になるので経費が大変です。大きな病院であっても地域の方々に対応して頂けないのはどうでしょうか。大変困っています。早急に整えて欲しいです。	第1章 第4節 2「医療」/ 第4章 第2節 1「総合交通」	八千代医療センターを中心に関切れない医療体制を確立するとともに、移動が困難な高齢者の外出支援やコミュニティバスの運行を推進します。	58, 101	高齢者の移動支援と医療機関の連携は計画にあるが、八千代台から医療センタ一への直通便等の具体策は薄い。	★★★
130	八千代医療センターの充実をお願いします。	第1章 第4節 2「医療」	救急医療の中核を担う八千代医療センターを支援し、救急医療体制の安定的な維持を図ります。	59	No.114と同様。「充実」ではなく「維持」では不十分。	★★★
131	医療に関するサービスを充実して欲しい。	第1章 第4節 2「医療」	充実した質の高い医療体制を構築できるよう、本市の実情に合った今後の地域医療体制を関係機関と検討します。	59	「検討」ばかりで、いつ、どのような医療サービスが加わるのかが一切示されていない。	★★
132	八千代台近辺に老人疾病(認知症等)専門ドクターや、専門治療可能な施設部門を整備してほしい。	第1章 第2節 3「高齢者福祉」	認知症になっても暮らし続けられる地域づくりを目指し、認知症に関する正しい知識の普及や相談体制の充実を図ります。	53	知識の普及は「啓発」であり、市民が求めているのは「箱(施設)」や「人(専門医)」という物理的資源。	★★
133	若い世代が少なくなっているの、子供を育てるのに力を入れて欲しい。	第1章 第1節 1「こども支援」	乳幼児親子が自由に過ごせる居場所など、こどもが自分らしく過ごせる居場所を提供し、健全な成長を促進します。	37	全体的な子育て支援の方向性は示しているが、八千代台という衰退地域への重点投資は見えない。	★★★
134	私など老人が集う所がなく暇を持て余している現状、もっと空きスペースや空き家等を利用した「いこいの場」(おしゃべり茶話会、囲碁・マージャン等のできる)を市が動いて作って下さい。老後も生き生きと元気に過せるように、マージャン仲間全員の意見です。	第1章 第2節 3「高齢者福祉」/ 第4章 第1節 2「福祉」/ 住宅」	老人クラブの活動を支援するとともに、空き家などを含む既存住宅のニーズの変化に対応した利活用を促進します。	47, 97	市民の「空き家活用」というアイデアを計画に盛り込んでおり、解決の可能性が高い。	★★★
135	障害者手帳を持っている人(身体)のタクシーの配布をガソリン券に代えてほしいです。具合の悪い子供を抱え車椅子を乗せる余裕はありません。病院への通いも常に車です。タクシーを使い2時間近くかかる病院へ行く余裕(金銭的に)もないです。毎年問題となっていると思います。考えてもらいたいです。	第1章 第2節 2「障害者福祉」	障害者手帳の所持者数は増加傾向にあり、障害がある人に配慮したきめ細やかな支援が求められています。個々の状況に応じたサービスを提供します。	44, 45	長年の要望に対し「個々の状況に応じた」という玉虫色の回答で、制度変更(ガソリン券導入)から逃げている。	★★
136	交通、鉄道、病院等、高齢者に対し住みよいまちづくり。	第4章 第2節 1「総合交通」/ 第1章 第4節 2「医療」	利用しやすい快適な公共交通ネットワークを構築するとともに、地域において切れ目のない医療の提供を図ります。	100, 58	高齢者対応を重点課題に掲げており、総論としては要望に応えている。	★★★
137	高齢者が外出しやすくなるように交通機関(電車・バス)の無料パスを発行してほしい。	第4章 第2節 1「総合交通」	移動が困難な高齢者の外出を支援するとともに、地域特性に応じたコミュニティバスを運行します。	101	外出支援はあるが、「無料パス」という財政負担の大きい直接的支援には踏み込んでいない。	★★
138	高齢者にバス料金を時々サービス等してほしい。ちよっと遠くまでも買物に行きやすくなると思う。	第4章 第2節 1「総合交通」	移動の自由度が高い快適な交通ネットワークの構築に向けて、地域公共交通の維持・利用促進に向けた取組を推進します。	101	「維持」に精一杯で、「料金サービス」まで手が回る状況にないことが計画から透けて見える。	★★
139	年金暮らしの母子家庭ですが、子供の扶養に入っているため、すべての支援金がいだけません。月 9 万の年金から家賃・食費等を出すとわずかに残るのみ。家もあり裕福に暮している人には支援金が出ているのに不公平に感じます。もっと細やかな心配りをしてく必要がありますのでは？	第1章 第1節 4「ひとり親家庭への支援」/ 第2節 4「生活困窮者等支援」	母子・父子自立支援員が総合的な窓口となつて、日常生活や子育て、就労などの相談に対応するとともに、適切なサービスを提供します。	41, 48	相談窓口の提示に留まり、制度の谷間にいる人への経済的救済策までは示されていない。	★★

意見No.	主な要望内容全文	後期基本計画の対応項目(第3部 部門別計画)	要望内容に対応した後期基本計画の具体的な記述内容	記載ページ	評価	評価結果
140	介護関係を充実してほしい。	第1章 第3節 2「介護保険」	介護サービス基盤の整備を進めるとともに、地域包括システムの構築を促進し、包括的にサービスを提供します。	52	基盤整備は進めているが、人手不足等の根本課題に対する「充実」の具体的スピード感が欠ける。	★★★
141	八千代市の女性のための検診で骨粗しょう症検診がありますが年齢が40～70歳までとなっています。でも70歳を過ぎても整形等の病院にかかる事がない場合、自身の骨密度がどの位あるかわからず生活しています。骨折して初めて骨粗しょう症だとわかる事もあります。そこで70歳以上の方の検診があれば医師からの指導で予防の薬を飲む事も出来ます。是非70歳以上の者にも市の検診を受けられる様、切に希望致します。	第1章 第4節 1「保健」	がん検診の有効性に基づき、より精度の高いがん検診などの実施を推進し、健康寿命の延伸を図ります。	57	骨密度検診についての記述がなく、「がん検診」のみに焦点が当たっており、要望がスルーされている。	★
142	今のところ特に要望することはありません。女子医大の満足度をUPしてほしい。	第1章 第4節 2「医療」	地域の医療体制を構成する医療機関がそれぞれの役割を担い、地域医療を維持するとともに、質の向上を図ります。	58, 59	満足度向上のための具体的な「病院への指導・協力体制」の中身が乏しく、掛け声倒れの感。	★★★
143	八千代医療センターの医師看護師の不足。三年前、家族が血液内科に行こうとしたが、先生不在で他の病院へ。今年耳鼻科へ行っただが、看護師さんが少なく感じた。	第1章 第4節 2「医療」	看護師等修学資金貸付や看護師復職研修を推進し、看護師等の確保及び質の向上を図ります。	59	看護師確保には具体的な「修学資金」「復職研修」があり、具体的アクションとして評価できる。	★★★
144	八千代医療センターも病床が満床ですぐに転院させられてしまう。是非安心して暮らせるまちづくりをお願いしたい。	第1章 第4節 2「医療」	八千代医療センターを中心に地域の医療機関が連携した医療体制を維持し、安定した救急医療体制を確保します。	58, 59	転院は病床の役割分担として正当化される側面もあるが、市民の「不安」を解消するほど体制が強化される記述はない。	★★★

総評：八千代台地域の声への「本気度」

後期基本計画は、市民が抱える**「医療センターへの不信任」や「高齢者の移動の自由」といった最重要課題に対して、解決の方向性（ベクトル）は一致**しています。

しかし、個別の「評価」で見ると、「具体的な助成金の創設」や「制度の欠陥（70歳以上の検診漏れ等）」といったピンポイントな要望に対しては、一般論にすり替えた回答が多いのが実態です。特に医療体制については、市の権限が及ばない大学病院側の都合に配慮しすぎるあまり、「検討」や「維持」に留まり、市民が求める「改善・拡充」への踏み込みが甘いと云わざるを得ません。

3. エコまちの会

☆バイオ炭化すれば土壌改良と温暖化対策！☆

ばらの剪定枝や伐採竹からバイオ炭を作り、花壇や畑に使用しています。

バイオ炭はほとんどが炭素であり、花壇や畑に入れることで土壌中の炭素貯留になります。

1. バイオ炭の経緯

- ・必要な設備である「炭化器」等は、千葉県令和5年度県民の環境活動支援事業助成金で購入しました。
- ・ばらの剪定枝を炭化し、ばら苗を植える時に花壇に入れました。
- ・ニマイル広場の林に侵入していた竹を伐採し炭化し畑に入れ、さつまいもを育てました。
- ・炭化は、里山ロック隊の活動場所をお借りして行いました。

2. バイオ炭の予定

- ・年2回行うばらの剪定に際し、出てくる剪定枝を里山ロック隊活動場所乾燥・炭化し、花壇に入れます。
- ・ニマイル広場の侵入竹を伐採し、里山ロック隊活動場所にて乾燥・炭化し、さつまいも畑に入れて、さつまいもを育てます。

3. 炭素の循環と4パーミレイニシアティブ

土壌中の炭素は、9000億トンあり、毎年炭素換算100億トンが掘り出されて使われ、二酸化炭素として370億トンが排出されています。その内、炭素換算57億トンが森林等で吸収されますが、43億トンを何らかの方法で土壌に戻さないとバランスが合わず大気中のCO₂が増加し温暖化が進みます。

その為に炭素換算43億トン÷9000億トン＝0.0048 即ち 0.4%＝4‰（パーミル）を何らかの方法で土壌に戻せば炭素のバランスがとれます。この炭素を戻す活動が4パーミレイニシアティブです。



4. 4パーミルに取り組んでいる山梨県

＜果樹王国やまなしの取り組み＞

<https://www.pref.yamanashi.jp/oishii-mirai/contents/sustainable/4permille.html> より引用

山梨県では、4パーミル・イニシアティブの取り組みとして、まず、県の主要農産物である果物に着目しました。

モモやブドウなどの果樹園では、冬に枝などを切る剪定を行います。その際に発生する剪定枝には、植物の光合成によって炭素が貯蓄されているので、剪定枝を燃やすと、炭素が酸素と結合して二酸化炭素になり、大気中に放出されます。

しかし、剪定枝を炭にすることで二酸化炭素の発生を減らすことができるだけでなく、微生物などによる分解がされにくくなります。その炭を畑にまくことで半永久的に炭素を土壌中に留めることができ、大気中の二酸化炭素

の増加量を抑えることにつながります。

＜ 4 パーミル・イニシアチブとは＞

4 パーミル・イニシアチブとは、世界の土壌表層の炭素量を年間 4 パーミル増加させることができれば、人間の経済活動などによって増加する大気中の二酸化炭素を実質ゼロにすることができるという考え方で、農業分野から脱炭素社会の実現を目指す取り組みです。

「パーミル（‰）」とは「パーセント（％）」の 10 分の 1 の単位で、4 パーミルは 1000 分の 4、パーセント（％）では 0.4％に相当します。

5. 竹炭を作って土壌に炭素を貯留する活動に取り組んでいく団体

◎ 八千代のいーすみ会（八千代市）

<https://www.instagram.com/yachiyo.e.sumi/>



◎ 北総クルベシ（四街道市）

https://www.facebook.com/hokusoucoolveg/?locale=ja_JP



◎ いすみ竹炭研究会（いすみ市）

<https://isumitikutan.org/>



6. 八千代市地域脱炭素ロードマップ 令和 6 年 3 月の実行

農地への炭素貯留の検討が推進方策に盛り込まれています。炭素貯留の方法として、梨などの剪定枝、伐採竹、農作物の部分、公園や住宅地の剪定枝等をバイオ炭にして貯留することが出来るのではないのでしょうか。

⑥ 農業の脱炭素化の推進

本市では、北部の農村地帯を中心として、ニンジンやネギなどの野菜や生乳、ナシなどの果実、コメなどの生産が行われています。農業では、施設園芸の加温や農業機械の動力を化石燃料に依存しているため、これらの再生可能エネルギーへの代替や AI・ICT などを活用したスマート農業の実現による CO₂ の削減を図ります。

また、市内では、農業に伴って発生する農業残さ、畜産ふん尿などのバイオマスについて、エネルギーをはじめとした資源循環利用について検討します。

さらに、農地に施用された堆肥や緑肥等の有機物は、多くが微生物により分解され大気中に放出されるものの、一部が分解されにくい土壌有機炭素となり長期間土壌中に貯留される特性を踏まえ、**農地への炭素貯留**についても検討します。

推進方策

- 農業における再生可能エネルギーの活用推進
- AI・ICT などを活用したスマート農業の推進
- 農業副産物など未利用バイオマスの活用検討
- **農地への炭素貯留の検討** 等



出典：八千代市第2次農業振興計画（八千代市）

八千代台まちづくり協議会

活動の詳細はフェイスブックとホームページを御覧下さい。

フェイスブック：<https://www.facebook.com/yachiyodai.machizukuri/>

ホームページ：<https://www.yachiyo-machi.com/>

八千代台まちづくり協議会チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg48_DrY9poPpmLxuFnwRaA



フェイスブック



ホームページ



協議会チャンネル (YouTube)